

早稲田大学法学部【世界史】解答例

I

設問 1	②	設問 2	②	設問 3	②	設問 4	①	設問 5	④
設問 6	③	設問 7	④	設問 8	③	設問 9	④		

II

設問 1	ウ	設問 2	イ	設問 3	ウ	設問 4	エ	設問 5	ウ
設問 6	ア	設問 7	イ	設問 8	エ	設問 9	イ		

III

設問 1	3	設問 2	2	設問 3	2	設問 4	4	設問 5	4
設問 6	1	設問 7	2	設問 8	1				

IV

設問 1	ニ	設問 2	ロ	設問 3	ニ	設問 4	イ	設問 5	イ
設問 6	ロ	設問 7	ハ	設問 8	ハ				

V

6 世紀半ばにモンゴル高原から中央アジアにかけて突厥が強大化し大帝国を建てた。その後突厥は東西に分裂したが、唐の建国を援助するなど勢力を保った。8 世紀半ばになるとウイグルが東突厥を滅ぼし、安史の乱の際には鎮圧を援助するなど強勢を誇ったものの、9 世紀半ばにキルギスに滅ぼされた。これによってウイグル人の一部は中央アジアに移動した。結果としてこの地域のトルコ化が進み、パミール高原の東西はトルキスタンと呼ばれるようになっていった。またトルコ人のイスラーム化も進み、トルコ人軍人奴隷のmamuluk がイスラーム王朝のもとで活躍した。10 世紀にはカラハン朝がトルコ系として初のイスラーム王朝となった。